

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年12月27日

【四半期会計期間】 第29期第3四半期(自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日)

【会社名】 株式会社ツヴァイ

【英訳名】 Z W E I C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宮 武 正 容

【本店の所在の場所】 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号

(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】 -

【事務連絡者氏名】 -

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区銀座五丁目9番8号

【電話番号】 03-6858-6540

【事務連絡者氏名】 取締役経営戦略本部長 後 藤 喜 一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第28期	第29期	第28期
		第3四半期 累計期間	第3四半期 連結累計期間	第28期
会計期間		自 平成23年2月21日 至 平成23年11月20日	自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日	自 平成23年2月21日 至 平成24年2月20日
売上高	(千円)	2,880,426	3,081,876	4,028,860
経常利益	(千円)	156,683	149,129	509,950
四半期(当期)純利益	(千円)	44,656	75,770	244,051
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	-	174,395	-
純資産額	(千円)	3,448,929	3,726,728	3,659,969
総資産額	(千円)	4,363,408	4,680,564	4,431,898
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	11.45	19.43	62.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	11.36	19.23	62.09
自己資本比率	(%)	78.7	78.8	82.2

回次		第28期	第29期
		第3四半期 会計期間	第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年8月21日 至 平成23年11月20日	自 平成24年8月21日 至 平成24年11月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.76	4.40

- (注) 1. 第29期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、第28期第3四半期連結累計期間及び第28期連結会計年度に代えて第28期第3四半期累計期間及び第28期事業年度について記載しております。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第29期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、第28期第3四半期累計期間及び第28期事業年度の四半期包括利益(包括利益)は記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間より、当社子会社のZWEI (THAILAND) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資家の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第3四半期連結会計期間より、当社子会社のZWEI (THAILAND) CO., LTD. を連結の範囲に含め、当第3四半期連結会計期間から連結決算を行っております。そのため、業績数値の前年同四半期等との比較は行っておりません。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要等により緩やかな回復の兆しがみられたものの、欧州の金融不安や長期化する円高など依然として先行き不透明な状況が続いております。当事業における経営環境においては、お客さまのサービスニーズの多様化が進むとともに、よりきめの細かいサービスを求めるお客さまの要請が顕著になってきております。

当社グループは、「幸せな出会いを創造し続ける」企業として、このようなお客さまの変化に確実に応えていくとともに、更なる事業成長を目指し下記の取り組みを実施してまいりました。

「既存事業の再構築」

当第3四半期連結累計期間におきましては、全国54店舗目となる「ツヴァイ川崎ルフロン」をオープンさせ、商業施設へ出店することによりお客さまがご利用していただきやすい環境を作っております。当連結会計期間には新たな出店および移転はありませんでしたが、今後もショッピングセンターへの出店、移転を進めてまいります。

またお客さまのニーズに対応すべく、シニアのお客さまへのサービスメニューの追加や27歳以下のヤング層への販促強化などを継続して実施しております。販促面においては、お客さまへの認知度向上の取り組みであるメトロビジョンやシネマ広告などの映像媒体を活用するとともに、5分間でツヴァイのサービスをわかりやすく説明する動画を作成し、ホームページや動画サイトでご覧いただくことで当社への理解を深めていただく取り組みをしました。

会員サービスの取り組みといたしましては、昨年より導入いたしました価値観によるマッチングの仕組みである「愛・コンパス」利用推進による出会いの機会の増加に取り組みました。また、アンケート結果において、お相手に家事能力を期待される方が男女ともに多いことから、会員さまのスキルアップを目的に、「一般社団法人ホームプロデューサー&アテンダント協会」と共同で「家事能力習得講座」を開講するなどさまざまなセミナーメニューの充実を図りました。このような取り組みにより、当第3四半期累計期間の成婚者数は前年同期比110.1%となりました。

「新しい事業・サービスの開発」

パーティ・イベント事業「チャティオ」につきましては、引き続き、開催エリア拡大とパーティ企画の充実による開催数、参加者の増加に取り組んでおります。また、ヤフー(株)が運営する「Y A H O O ! お見合い」の会員さま向けのパーティを受託運営するとともに、新しいメニューを共同で開発するなど、その連携を強化しております。このような取り組みにより、当第3四半期連結累計期間のパーティ開催数は前年同期比329.7%となりました。

ウエディング事業につきましては、ブランド名を「イオンウエディング」へ変更し、一般顧客向けのサービスとして事業強化に取り組みました。イオンショッピングセンター内において、さまざまなご相談やお客さまのご要望に合う商品・施設をご紹介するウエディング相談事業を展開してまいります。第3四半期連結累計期間には、既存のツヴァイ店舗との併設型である「イオンウエディングレイクタウン越谷」を開設してお客さまへのサービス提供を実施しており、今後の単独店舗、併設型店舗の展開に向けてのモデルケースとして取り組みを進めております。

「アジアでの事業展開」

タイ事業につきましては、6月2日にバンコク中心部に位置するショッピングセンター「セントラルワールド」での営業を開始しております。ご紹介の基礎となる会員数を早期に獲得するよう、当事業の認知度アップに向けた広告媒体への積極的取組みや営業力向上のためのスタッフ配置、システム環境の整備に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間においては、認知度アップなどの積極的コスト投入をしましたが、営業収益確保のための入会者獲得には至っておらず、営業利益において当初の計画を下回る結果となりました。

今後、更なる認知度向上の取り組みを推進して会員数を着実に増加させるとともに、入会された会員さまへの出会い機会の拡大およびパーティやセミナーなどを充実させて営業収益を確保に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30億81百万円、営業利益1億20百万円、経常利益1億49百万円、四半期純利益75百万円となりました。

なお、セグメントの業績は、当社グループは「結婚相手紹介サービス業」の単一セグメントであるため、記載しておりません。

(2) 財政状態の分析

資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、46億80百万円となりました。

流動資産は、30億3百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金4億18百万円、関係会社預け金19億円、金銭の信託2億40百万円等であります。

固定資産は、16億76百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産1億82百万円、無形固定資産1億11百万円、投資有価証券7億20百万円等であります。

負債

流動負債は、6億87百万円となりました。主な内訳は、買掛金1億6百万円、未払費用1億18百万円、前受金2億24百万円等であります。

固定負債は、2億66百万円となりました。主な内訳は、繰延税金負債1億51百万円等であります。

この結果、負債合計は、9億53百万円となりました。

純資産

純資産は、37億26百万円となりました。主な内訳は、資本金4億44百万円、資本剰余金4億50百万円、利益剰余金23億76百万円等であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,400,000
計	14,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年11月20日)	提出日現在発行数(株) (平成24年12月27日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,900,000	3,900,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	3,900,000	3,900,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年8月21日～ 平成24年11月20日		3,900,000		444,000		450,000

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年11月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,898,600	38,986	
単元未満株式	普通株式 1,200		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,900,000		
総株主の議決権		38,986	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式36株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年8月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年11月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ツヴァイ	東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番1号	200		200	0.00
計		200		200	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

なお、第3四半期連結会計期間及び第3四半期累計期間から初めて四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度の連結貸借対照表、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書及び前第3四半期連結累計期間の四半期連結包括利益計算書は記載していません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年8月21日から平成24年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年2月21日から平成24年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年11月20日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	418,946
売掛金	337,606
前払費用	64,651
関係会社預け金	1 1,900,000
繰延税金資産	32,727
金銭の信託	2 240,304
その他	11,496
貸倒引当金	2,127
流動資産合計	3,003,607
固定資産	
有形固定資産	3 182,511
無形固定資産	111,356
投資その他の資産	
投資有価証券	720,048
敷金	357,124
保険積立金	304,883
その他	1,032
投資その他の資産合計	1,383,089
固定資産合計	1,676,956
資産合計	4,680,564
負債の部	
流動負債	
買掛金	106,238
未払金	77,779
未払費用	118,435
未払法人税等	32,560
未払消費税等	13,538
前受金	224,842
賞与引当金	54,423
役員業績報酬引当金	21,488
設備関係未払金	27,486
その他	10,333
流動負債合計	687,126
固定負債	
退職給付引当金	53,321
繰延税金負債	151,477
資産除去債務	45,650
長期未払金	16,260
固定負債合計	266,709
負債合計	953,835

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成24年11月20日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	444,000
資本剰余金	450,000
利益剰余金	2,376,581
自己株式	312
株主資本合計	3,270,269
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	414,024
為替換算調整勘定	2,597
その他の包括利益累計額合計	416,622
新株予約権	21,932
少数株主持分	17,903
純資産合計	3,726,728
負債純資産合計	4,680,564

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
売上高	3,081,876
売上原価	1,507,915
売上総利益	1,573,961
販売費及び一般管理費	1,453,270
営業利益	120,691
営業外収益	
受取利息	5,120
受取配当金	20,588
その他	3,241
営業外収益合計	28,950
営業外費用	511
経常利益	149,129
税金等調整前四半期純利益	149,129
法人税、住民税及び事業税	119,046
法人税等調整額	17,433
法人税等合計	101,613
少数株主損益調整前四半期純利益	47,516
少数株主損失()	28,253
四半期純利益	75,770

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	47,516
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	126,148
為替換算調整勘定	730
その他の包括利益合計	126,878
四半期包括利益	174,395
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	202,276
少数株主に係る四半期包括利益	27,881

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)
連結の範囲の重要な変更 当第3四半期連結会計期間より、重要性が増したZWEI (THAILAND) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)
第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
1 関係会社預け金は、イオン株式会社との金銭消費寄託契約に基づく寄託運用預け金等であります。
2 サービス未提供部分の前受金を保全するため、金融機関に金銭の信託をしているものであります。
3 有形固定資産の減価償却累計額 545,327千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)
減価償却費 105,032千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月5日 取締役会	普通株式	116,992	30	平成24年2月20日	平成24年4月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	19円43銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	75,770
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	75,770
普通株式の期中平均株式数(株)	3,899,764
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	19円23銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	40,728
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月27日

株式会社ツヴァイ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西岡雅信 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大竹貴也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ツヴァイの平成24年2月21日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年8月21日から平成24年11月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年2月21日から平成24年11月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ツヴァイ及び連結子会社の平成24年11月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。